

めざせ世界遺産登録 あなたも参加団体で活動しませんか？

サムライ文化を世界へ広げたい！

義経と静の会

義経と静の会は 2008 年 6 月に発足し、会員は全国に約 300 名。歌や笛、舞をまじえた講演コンサートや、会員の研究論文等を掲載した機関誌の発行を通じて、日本精神文化の確立と実践・普及により、地球の恒久平和の実現に貢献したいとの願いで活動しています。「義経・ジンギス汗」仮説の検証も行っています。

2010 年 2 月には、有志による世界遺産に関する連絡会が結成され、定期的な勉強会や情報交換をしています。これまでに市の世界遺産担当による『出張講座』や、鎌倉市長と意見交換する『市長カフェ』を開催、さらに推進協議会の事業部会と広報部会に参加しています。機関誌では世界遺産特集を掲載しています。



機関誌「ボルテ・チノ～日本の心」

会長の山波さんは『「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」というユネスコ憲章の実現ヒントは、鎌倉から生まれたサムライ文化の中にあると考えます。鎌倉を、世界の鎌倉としてユネスコの世界遺産へ登録することで、『平和のとりで』を広げたい』と語っています。

鎌倉の普遍的価値を世界に

鎌倉地方自治研究センター

鎌倉地方自治研究センター(略称・自治研)は 1986 年に市民運動をしていた主婦、市や県の職員、弁護士、建築家、教師、大学教授など市民の手によってつくられ、今日 25 年を経過しました。

福祉、医療、環境、教育、文化、まちづくりなど市民として生きることと行政との関係は切り離せないものだから、まずは互いに学び会おうという趣旨でした。自治研センターが取り上げたテーマの一つに鎌倉の歴史遺産があり、数年にわたり歴史講座を開講しましたが、毎回 60 人以上の市民が参加するようになりました。そのような時に市の方から、世界遺産登録をめざす市と市民の協働の組織である世界遺産登録推進協議会参加の呼びかけがありました。参加後には、他の市民団体と共同して「武家の古都・鎌倉塾実行委員会」が発足しました。

この塾では、鎌倉の歴史遺産の語り部を育てることをめざし、年 2 回の講座を開講しています。毎回定員を超える申込みがあり好評です。

自治研究センター代表の柳下実さんは「市民の力で、何としても鎌倉を世界遺産にしたい。それには、市民がまず鎌倉の歴史的な価値を学ぶこと」と話していました。



歴史講座の様子

古都鎌倉の世界遺産登録って

なに？

第17回 極楽寺はどんなお寺？

極楽寺は、鎌倉幕府第二代執権北条義時の子重時により、正元元年(一二五九)に創建されました。はじめ浄土宗の寺院でしたが、奈良の西大寺で戒律復興運動を進めた叡尊(えいそん)の弟子である忍性(にんじやう)が文永四年(一二二七)に寺に入ってから以降、西大寺流律宗の東国での拠点となりました。

忍性は、病人や弱者の救済事業といった社会福祉事業に力を尽くしました。また、道路や橋を造るなどの土木工事も盛んに行い、極楽寺切通の開削にも関わったと言われています。全盛期には、現在の極楽寺地区のほぼ全域を境内とし、和賀江嶋や由比浜一帯の管理も幕府から任されていた。

嘉元元年(一一三〇)に忍性が没すると、墓塔として現在も境内にある五輪塔が建てられました(忍性塔、毎年四月八日公開)。このように墓塔を建てる習慣が武士や庶民にも広がり、現代のお墓の形にもつながっています。

室町時代以降の度重なる災害などにより、寺域は徐々に小さくなりましたが、発掘調査により、地下には中世以来の遺構が残っていることが明らかになっています。

極楽寺は鎌倉の西の交通の要所にある北条氏の氏寺として、中世の文化を現在に伝える貴重な遺産なのです。



Event! the 世界遺産

いざかまくらトラスト主催・鎌倉世界遺産登録推進協議会共催

鎌倉文化を学ぶ会 第2回(講座と現地見学)

「国宝・鎌倉大仏造立の謎 ～建長四年、大仏鑄始～」

鎌倉文化のコミュニケーターづくりをめざす講座の第2回。現在の銅造の阿彌陀如来像は、以前は木造と考えられています。何時、誰が、どのようにしてこの巨大な像を造ったのか？発掘調査で少しずつ明らかになった大仏鑄造の謎に迫ります。

講座のあと、境内の庭園・茶室と韓国の王宮から移築された観月堂を柵内で特別拝観の予定。

講師：内海恒雄さん(推進協議会広報部会長/いざかまくらトラスト副代表)

と き 平成23年3月26日(土) 13:30～16:30 **集合場所** 長谷・高德院(大仏)仁王門内(13:00 受付開始)
参加費 1000円(当日) **定員** 100名(先着順・定員超過者のみ連絡します) **後援** 鎌倉市 逗子市教育委員会
お申込 ハガキ、FAX、Eメールで、ご住所・お名前・連絡先を明記して下記へお送りください。
(郵送先) 〒247-0063 鎌倉市梶原 1-17-36/武永有里 (FAX) 0467-48-3595 (Eメール) kamatora08@yahoo.co.jp
お問い合わせ ☎0467-44-3863(越野恵子) **当日連絡先** ☎080-4298-7162(佐藤江里子)

第53回鎌倉まつり「鎌倉の世界遺産登録をめざして」

講演『世界文化遺産と鎌倉』と寺社特別拝観めぐり

今回のメインテーマも「鎌倉の世界遺産登録をめざして」です。今年も若宮大路のパレードに当推進協議会も参加します。世界遺産候補地の特別拝観と講演会は当協議会主催行事です。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

鎌倉まつり期間 平成23年4月10日(日)～4月17日(日) (鎌倉市観光協会主催)

- プログラム**
- ① 10日(日) ……若宮大路パレード
 - ② 11日(月)～15日(金) ……世界遺産候補地の寺社特別拝観めぐり(推進協議会主催)
 昨年は覚園寺千駄地蔵堂・瑞泉寺仏殿・建長寺三門・西来庵・禅居院・鶴岡八幡宮若宮などを特別拝観しました。今年も同規模の特別拝観を寺社にお願いして実施する予定です。
 - ③ 16日(土) ……14時～16時「もっと知ろう、世界遺産」(推進協議会主催)
 『世界文化遺産と鎌倉』講師：稲葉信子さん(筑波大学大学院世界文化遺産学専攻教授)
 ところ／鎌倉商工会議所地下ホール **定員**／150名(先着順) **参加費**／無料

※今年度「世界遺産登録に向けての中学生作文コンクール」受賞者の朗読と、県立鎌倉高校の生徒による「かまくら学」研究発表も予定しています。

お問い合わせ／上記のプログラムの詳細は、下記事務局へ。

その他、鎌倉まつりの全般的なことは、鎌倉市観光協会(☎0467-23-3050)まで。

EDITOR'S NOTE

広報部会長 内海恒雄

相次いで行われたシンポジウムなどでも、世界の中の鎌倉の価値をどう評価しているかに興味をもち、世界に発信するかもしれない。私たちが鎌倉の文化遺産の価値を改めて国際的視野から見つめ直し、後世に伝える責任を自覚したいものです。

しかし文化庁の本中眞さんが指摘されるように、国際会議を経て、鎌倉の価値をアジア史の観点から見直したり、山と寺社と一体となつていく環境をどう保存していくかなど、まだまだ課題はあります。

県知事と鎌倉市長は、鎌倉の世界遺産登録が、本年度は国からユネスコへの申請が見送りとなったことについて、文部科学大臣と文化庁長官に、早期の登録の実現を要請しました。そして推薦書の作成については、平成二十二年中に仕上げ、いくことをめざして、文化庁と協働して取り組んでいくことになりました。

編集後記

編集委員／大竹正芳 香山隆 菊池威雄 小池潮里 後藤辰郎 佐藤江里子 高木規矩郎 都筑健一 能登原秀実 萩野なおみ 福澤健次 牧れい花 横岩宏志
 デザイン／澤田ながえ

鎌倉世界遺産登録インフォメーション&放送スケジュール

インターネット

●鎌倉世界遺産登録推進協議会HP
<http://www.shonan-it.org/KWH-kyogikai/>

FMラジオ

●鎌倉FM(82.8MHz) ……毎週日曜 12:00～12:30
 「湘南鎌倉いまむかし」番組後半「鎌倉世界遺産への道」

ケーブルテレビ

●JCN 鎌倉 ……毎週木曜 17:10～(当日再放送あり)
 7Days デイリー 「一問一答! 鎌倉検定の道」

鎌倉世界遺産登録推進協議会事務局

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10
 鎌倉市世界遺産登録推進担当
 Tel. 0467-61-3848
 Fax. 0467-23-1085
 E-mail: sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp